

【礼拝賛美】鹿のように（2回）

谷川の流れを慕う 鹿のように
主よわが魂 あなたを慕う
あなたこそ わが盾 あなたこそ わが力
あなたこそ わが望み われは主を仰ぐ

【報告 消息】

・合同例会 報告 礼拝後は3階でみんなでお弁当をいただき、今月のお誕生者の紹介もありました。その後は3グループに分かれての例会。各グループに向かう兄弟姉妹の期待に満ちた楽しそうな笑顔が印象的でした。

「賛美と証し」（29名）では、ワーシッブソングから懐かしの友よ歌おうまで、参加者の証しを交えつつ主を賛美。

「弱さと闇を照らす光」（10名）では、中村穰先生のディボーションテキストを手掛かりに分ち合い。口火が切られると、出席者が次々と思いを語りました。

「読書と人生」（12名）は出席者が自分の人生に影響を与えた本を紹介。聞きながら、あつ、それ読んだ！私もその本を読んでみたい！と、思わせてくれました。

各例会の背後では、会が和やかに進むようにと「結カフエ」メンバー（2名）が茶菓のデリバリー。うれしいサービースグループ別例会のあとも3階フリースペースが余韻を楽しませてくれました。そこかしこで語らう兄弟姉妹の姿に、例

会を楽しんだ様子がうかがえました。

合同例会の実施の為には、会長会が長い時間を掛けて綿密に準備を進めてくださいました。各会長を中心に、兄弟姉妹が分担し、各グループが円滑に進行し、恵みに満ちた内容でした。専い労に感謝。

終わってからは、ほかの例会にも出たかったという声を聞きました。第二弾が待ち望まれます！（今回の参加者53名）

【予告】クリスマス礼拝&コンサート

12月21日（日）

11時〜 クリスマス合同礼拝
13時半〜 クリスマス・コンサート

音楽・説教 須郷祐介師

暁のうたミュージックミッション

元 東京フリーメソジスト教団 牧師
元 劇団四季

須郷師は東京芸術大学卒業後、劇団四季に所属。「オペラ座の怪人」などでメインキャストを務め「ライオンキング」にも出演。その後牧師となり、長い牧会生活ののち、昨年より音楽宣教を開始しました。

地震の後に火があつたが、火の中にも主はおられなかった。しかし火の後に、かすかな細い声があつた。エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て洞穴の入り口に立つた。すると声がして、「エリヤよ、ここにいるのか。」

列王記第一19章12、13節

旧約聖書に出てくる預言者エリヤ。彼はイエス様の時代には伝説的な英雄でした。イエス様が多くの奇蹟を行い人々の注目と称賛を集めると、人々はイエス様を「エリヤの再来」と呼びました（マルコ8:28）。人々だけではありません。主ご自身がエリヤを信仰者の代表として扱っています。イエス様が、山の上で神の栄光を現わした「変貌山」の出来事とき、イエス様の両側に現れたのはモーセとエリヤでした（九五）。モーセは律法を示し、エリヤは預言者の代表。律法と預言者とは旧約聖書のこと、彼らはその代表と言われます。

これらのことから、エリヤが神に愛され、人に尊敬された信仰者だと分かります。そんな偉大な人物でも、疲れ果て、くじけて、自らの死を望むほどに心が折れてしまったことが列王記第一19章に記されています。人は肉体を持つ限り限界があります。また、私たちが生きる世界は罪の力に覆われていて、不条理と思える出来事が私たちに襲い掛かります。どんなに優れた能力を持っていたも、一人では立ち向かえない課題を抱えることがあり、無力を痛感するときがあります。そんなときに私たちに必要なことは、主の御前に静まるということです。どんな人でも、

体と心を休めることが必要です。それは、肉体と心の休息を取り、自分自身を見つめながら、主の御声に聴くということです。主は疲れ果てたエリヤに眠りと食べ物を与えました。肉体の休息です。その上で、エリヤに語り掛けました。「かすかな細い御声」で語り掛けたのです。静まらなければ聞えない声です。静かなやり取りの中でエリヤは回復し、主から授かった新しい使命に励まされて、再び立ち上がりました。聖書が一貫して教えていることは、人は体と心の面において、静まる時が必要だということです。イエス様は、しばしば一人で山に退いて祈りの時間を持ちました。そもそも、この世界が創造されたとき、主ご自身が安息日を定めて休まりました。休むこと、静まることで新しく創造的な日々を送ることができると聖書は告げています。（泰）

10月12日 聖日礼拝

小礼拝 9時 荻野牧師
聖日礼拝 11時 中西と兄 榊原 姉
前 奏
招 詞 ハバクク書2章20節
会衆賛美 聖歌394 ひとりの御子を
会衆賛美 鹿のように
主の祈り
交 読 詩篇46篇1～11節
(旧約聖書 980頁)
礼拝祈禱
使徒信条
聖書朗読 列王記第一19章1～13節
(旧約聖書 636頁)
説 教 主の静かな御声を聴く
荻野泰弘牧師
会衆賛美 聖歌488
神のたもう安けさは
献 金 聖歌376 父御子御霊の
頌 栄 聖歌376 父御子御霊の
祝 祷
報告
感謝祈禱 奏楽

【招 詞 (主の招きのことば)】
ハバクク書2章20節 「主は、その
聖なる宮におられる。全地よ、主の
御前に静まれ。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 礼拝後

■小学科ホザナ礼拝 11時～3階

■バイブルカフェ お休み

※本日は、霊修会へ出発のため、
教会堂は13時半に戸締りをします。

【今週の予定】

12 (日) ～ 13 (月) 霊修会
13 (月) ～ 14 (火)
外部集会 JHA聖化大会
16 (木) 10時半～ 祈禱会
18 (土) 13時半～ 外部集会
「信条とは何か」
会場 上馬教会

【本日の礼拝奉仕者】

■小礼拝・オンライン配信
礼拝祈禱 荻野泰弘
報告 荻野泰弘
配信 荻野泰弘
配信チーム

■聖日礼拝

礼拝祈禱
聖書朗読
献金1階
献金2階
献金祈禱
報告 司会者
会場 荻野泰弘
受付 林 良男
パワポ パワポチーム

【教勢報告】

■10/5 聖日礼拝
小礼拝 16名(J3、S0)
聖日礼拝 58名(J0、S1)
小学科礼拝 4名
ホザナ礼拝 J3名、S3名
■10/9 祈禱会 17名

【本日の配布物】

・教育部通信「のぞみ」第7号

【第67回 霊修会】12(日)～13(月祝)

「聖霊にゆだねて～神から来る～」

講師 岩上祝仁師

インマヌエル綜合伝道団 代表

《霊修会 参加者へ》

*送迎車を予約利用の方

聖日礼拝後に3階へ移動ください。
・お弁当の用意があります。
・交通費の支払いがお済みでない
方は担当者へお支払いください。
3,000円(弁当付)

・出発は13時頃です。3階でののび
案内に従ってください。

*電車等で会場に向かう方

気を付けてお出かけください。
現地の受付開始は15時です。

《プログラムの一部変更について》

初日の夕食時間と聖会Iの時間が
30分早くなります。
夕食17時半より 聖会I 19時より

・先発隊 林伝道師と数名の姉姉が
準備のため小礼拝後に先発です。

・会堂戸締り 荻野牧師 13時半

《聖会 説教箇所》

聖霊によって生きる

クリスチャン生涯

〔聖会I〕

ヨハネの福音書6章63節

「いのちを与えるのは御霊です」

〔聖会II〕

ガラテヤ人への手紙5章16～26節

「御霊によって歩みなさい」

〔聖会III〕

ローマ人への手紙8章22～39節

「御霊のとりなしに支えられて

救いの完成に向かって」



【召天者記念礼拝・墓地礼拝】

日程 11月2日(日)

■召天者記念礼拝 11時より

会場 蒲田シオン教会 礼拝堂

■墓地礼拝 14時半より

場所 多磨霊園 教会墓地

※墓地礼拝へマイクロバス利用希望
の方は早めにお申し込みください。

※墓地管理料は献金箱へ入れてくだ
さい

【外部集会のお知らせ】

■10/18日(土) 13時半～15時

「信条とは何か」

「ニカイア信条の成立過程について」

会場 上馬キリスト教会

講師 関川泰寛師

参加費 千円
大森めぐみ教会主任牧師

「信条」は初代教会で異端との戦い
の中で成立し、キリスト教会で伝統的
に受け継がれてきました。信条を学ぶ
とは、正統的な信仰を知ることです。

■11/15(土) 10時～15時

OCC首都圏宣教セミナー

「説教の聴き方」

講師 朝岡勝師

会場 お茶の水クリスチャンセンター

参加費 1,000円

※事前申込が必要です。

■11/23(日) 14時～

大森めぐみ教会 オルガン演奏会

音楽 松居直美氏

入場券 2,000円

(学生1,000円 小中高生無料)

会場 大森めぐみ教会